

企業会計

水道事業

収益の収入及び支出

水道事業収益	
営業収益	12億3,337万2,459円
営業外収益	8,958万2,445円
特別利益	390万7,118円
水道事業収益合計	13億2,686万2,022円

水道事業費用	
営業費用	10億6,981万8,477円
営業外費用	1億4,807万9,306円
特別損失	2,200円
予備費	0円
水道事業費用合計	12億1,789万9,983円

資本の収入及び支出

資本の収入	
企業債	1億130万円
他会計出資金	1,837万6,763円
他会計負担金	170万5,000円
固定資産売却代金	0円
工事負担金	9,017万2,277円
国庫補助金	0円
資本の収入合計	2億1,155万4,040円
不足額	6億6,375万9,689円

資本の支出	
建設改良費	4億9,063万7,022円
企業債償還金	3億8,467万6,707円
予備費	0円
資本の支出合計	8億7,531万3,729円

資本の収入額が資本の支出額に不足する額6億6,375万9,689円は、当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額4,234万7,500円、当年度分損益勘定留保資金4億4,755万5,501円及び建設改良積立金1億7,385万6,688円で補てんしました。

下水道事業

収益の収入及び支出

公共下水道事業収益	
営業収益	1億6,948万8,770円
営業外収益	6億2,211万6,697円
特別利益	0円
公共下水道事業収益合計	7億9,160万5,467円

公共下水道事業費用	
営業費用	5億4,048万7,832円
営業外費用	9,390万2,587円
特別損失	1,323万8,723円
予備費	0円
公共下水道事業費用合計	6億4,762万9,142円

資本の収入及び支出

資本の収入	
企業債	8,640万円
負担金	1,273万8,000円
補助金	7,558万8,480円
資本の収入合計	1億7,472万6,480円
不足額	3億3,459万383円

資本の支出	
建設改良費	1億5,914万4,949円
企業債償還金	3億5,017万1,914円
予備費	0円
資本の支出合計	5億931万6,863円

資本の収入額が資本の支出額に不足する額3億3,459万383円は、当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額675万6,757円、引継金4,223万64円、引継未収金1,955万6,945円、当年度分損益勘定留保資金2億1,612万8,192円、当年度利益剰余金処分額4,991万8,425円で補てんしました。

病院事業

収益の収入及び支出

病院事業収益	
医業収益	18億9,498万4,915円
医業外収益	7億9,258万5,185円
特別利益	1,214万7,110円
病院事業収益合計	26億9,971万7,210円

病院事業費用	
医業費用	25億5,577万2,981円
医業外費用	5,791万8,662円
特別損失	1,214万7,110円
予備費	0円
病院事業費用合計	26億2,583万8,753円

資本の収入及び支出

資本の収入	
他会計負担金	7,955万708円
企業債	8,700万円
資本の収入合計	1億6,655万708円
不足額	7,609万4,958円

資本の支出	
建設改良費	8,917万3,040円
企業債償還金	1億5,347万2,626円
資本の支出合計	2億4,264万5,666円

資本の収入額が資本の支出額に不足する額7,609万4,958円は、当年度分消費税資本の収支調整額810万6,640円及び過年度分損益勘定留保資金6,798万8,318円で補てんしました。

介護サービス事業

収益の収入及び支出

介護サービス事業収益	
営業収益	3,481万3,466円
営業外収益	247万4,325円
特別利益	40万6,000円
介護サービス事業収益合計	3,769万3,791円

介護サービス事業費用	
営業費用	4,743万8,129円
営業外費用	0円
予備費	0円
特別損失	40万7,040円
介護サービス事業費用合計	4,784万5,169円

資本の収入及び支出

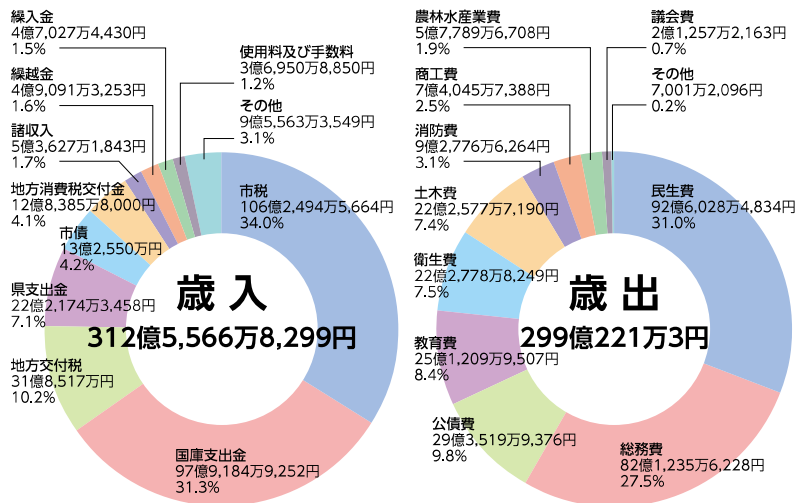
資本の収入	
資本の収入合計	0円
不足額	71万9,500円

資本の支出	
建設改良費	71万9,500円
資本の支出合計	71万9,500円

資本の収入額が資本の支出額に不足する額71万9,500円は、過年度分損益勘定留保資金71万9,500円で補てんしました。

一般会計

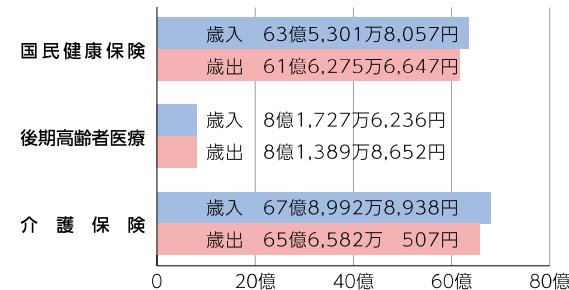
本市の令和2年度一般会計総額は、歳入312億5,566万8,299円、歳出299億221万3円で、歳入から歳出を差し引いた形式収支は13億5,345万8,296円、形式収支から翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、11億6,935万8,296円で、黒字決算となりました。



特別会計

特別会計は、特定の事業のために一般会計と切り離して経理しているもので、本市の特別会計は国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計で構成されています。

令和2年度の特別会計総額は、歳入が139億6,022万3,231円、歳出が135億4,247万5,806円で、歳入歳出差引残額は4億1,774万7,425円の黒字決算となりました。



地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、下記のとおり公表します。

令和2年度決算では、いずれの比率も国の定める基準を下回っていて、本市の財政状況は健全な状態です。

健全化判断比率 (単位:%)				資金不足比率 (単位:%)		
比率	早期健全化基準	財政再生基準		特別会計の名称	比率	経営健全化基準
実質赤字比率	-	12.74	20.00	水道事業会計	-	
連結実質赤字比率	-	17.74	30.00	下水道事業会計	-	20.0
実質公債費比率	8.4	25.0	35.0	病院事業会計	-	
将来負担比率	-	350.0		介護サービス事業会計	-	

※実質赤字比率および連結実質赤字比率は、赤字額が算出されないため「-」で表示しました
※将来負担比率は、算出されないため「-」で表示しました

※全ての会計で資金不足が算出されないため「-」で表示しました